

**総合的な学習の時間
(福祉体験)**

座間市立相模中学校

単元(題材)目標

「共に生きる」～福祉の取り組みを通して～

- ・よりよい生活を共に築いていくために、助け合う心や実践力を養う。

(1) 実施時期

11月下旬

(2) 対象(学年等・人数)

1学年 23人

(3) 指導者(教諭・外部講師等)

外部講師：座間市社会福祉協議会 ボランティアセンター 星の会の方々

(4) 実施内容

- ・外見ではわからない聞こえない障害についての講話。
聴覚障害がある方との会話方法の紹介(コミュニケーション手段)。
①身振り②口話③空書④筆談⑤指文字⑥手話。
その中で⑥を学び実演。
(1)挨拶 (2)自己紹介(生徒一人一人が自分の名前を実演)
(3)会話 (4)歌 『世界に一つだけの花』

(5) 成果

- ・聞こえている人は、無意識に音を聞いて判断し、行動しているが、聴覚障害がある方はそれができないため、不便であることを理解できた。
- ・コミュニケーション手段の種類を知り、その中の一つが手話であることを知り、手話の大切さと困っている人がいたら、何かしらお役に立ちたいという前向きな感想が寄せられた。